

新潟市民病院 公開・オプトアウト書式

テンプレート

申請番号 23-064	
研究課題名	留置スネア使用時のトラブルシューティングとその注意点
情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	2021年11月～2023年10月に当院で内視鏡的大腸ポリープ切除術・粘膜切除術を施行した際、留置スネアを使用した26例について、患者背景、留置スネアの使用状況、留置スネア関連偶発症を検討し、適切な使用方法、トラブルシューティングについて再検討します。調査結果は学会で報告する予定ですが、個人情報は情報加工するため、個人が特定化される情報が公表されることはありません。他の医療機関に個人情報を提供することはありません。
利用または提供する情報の項目	診療記録, 検査所見, 画像所見
対象者及び対象期間	2021年11月～2023年10月に当院で内視鏡的大腸ポリープ切除術・粘膜切除術を施行した際、留置スネアを使用した26例
利用の範囲	新潟市民病院 消化器内科
試料・情報の管理について責任を有する者	新潟市民病院 消化器内科副部長 河久 順志
問い合わせ先	新潟市民病院 消化器内科副部長 河久 順志 TEL:025-281-5151(代表)
共同臨床研究機関	なし
備考	